

## 令和2年度 法人の執行状況報告（案）

### 【法人本部】

コロナ禍における感染防止対策に追われつつも、法人関係者が感染することはなかった。利用者、スタッフ一丸となり警戒しつつも、楽しみを見つけ出そうと努力してくれている。

古川医療福祉設備振興財団より顕彰表彰された。これまでの取り組みと、これからへの期待を評価いただいたもので、栄誉なことと感謝申し上げたい。

法人全体の人材不足の解消の一助として、ベトナムから2名の留学生の受け入れもスタートされた。

### 【岡之原エリアについて】

記録ソフトの入れ替えで、さらなる効率化を目指す。将来的には、記録＝請求が一元管理されることで、さらなるコスト感覚を身につけて執行状況を管理。

利用者2名の方が他界されている。女性スタッフの退職による人材不足が課題。

### 【草牟田エリアについて】

4年目にして収支状況が安定してきた。鹿児島市障害者基幹相談支援センターと連携しつつ、鹿児島市内の13法人との面的整備につながる連携協定を結び展開中。今後、報酬改定による地域生活支援拠点加算を活用し、さらなる連携協定法人の増加が見込まれる。対応困難なGH利用者の支援、女性スタッフの不足等課題は残る。

### 【上福元エリアについて】

保育園における保護者対応の難しさに向き合う一年となった。それでもひたむきに子どもたちと向き合ってくれたすべてのスタッフに感謝である。医療的ケアの必要な子どもに対して看護師を配置できず退園となったが、低年齢児における預かりの場としての保育園の在り方について今後検討が必要。

放課後等デイサービスもコロナ禍におけるさまざまな制約がある中ではあったが、スタッフ不足の中、様々な工夫を凝らして対応できていた。

### 【事業企画課】

ホームページリニューアル [EC サイト更新]

鹿児島市施設連絡業議会の事務局として、鹿児島中央駅地下コンコースにて、かごしまアールブリュットセンターの展示実施（12/5-19）。強度行動障害従事者養成研修（1/19-20,2/16-17）を実施。

【監事監査】 2020年5月22日（金） 2021年5月20日（木）

【理事会】 2020年5月28日（木）

【評議員会】 2020年6月15日（月）

【第三者委員会・運営協議会】 2020年8月19日（水）

# 令和2年度 ゆうかり学園 事業報告(案)

## 1. 事業報告

### 1) 施設入所支援

定員40名 期首 39名(男21:女18) / 期末 38名(男20:女18)

利用者がお一人お亡くなりになった。女性スタッフが年度末で4名離職。派遣スタッフ等でのカバーをしつつも宿直・夜勤体制の見直し等を検討中。

### 2) 生活介護

定員75名 期首 67名 / 期末 65名

強度行動障害支援者養成研修、障害者虐待防止研修等の受講を通して技術ならびに意識レベルの向上を目指してきた。WEBによる瑞宝太鼓ワークショップも楽しみにしておられる。外出の機会は少ないが、スタッフがいろいろなアイデアを出して工夫して過ごしている。

### 3) 就労継続A型

定員10名 期首 6名 / 期末 6名

ぽおくしよっぷ遊花里での餃子作りが主な仕事となっている。一所懸命に働いているが、工賃のアップに結び付けられない状況が続いている。

### 4) 就労継続B型

定員45名 期首 38名 / 期末 38名

これまで就労系の日中活動はゆうかり学園では多くの作業種目があり、利用者の方の能力に応じた作業班に所属しており、その中でも中心的な日中活動としては畜産、園芸、であったが、生活介護でも述べた通り、高齢化による機能低下から無理ができない方が増えてきている。高齢化に向け配慮が必要な状況である。

## 日中活動報告

### 1) 園芸(野菜)

コロナ禍における、ぽおくしよっぷ遊花里の餃子受注の減少により、キャベツ等の生産調整が必要となったが、安心安全でおいしい野菜を提供することを目標に掲げて、減農薬での野菜作りから可能な限り無農薬での野菜作りを念頭に置きながら活動に取り組んできた。利用者の皆さんにもその野菜作りに参加してもらいと充実した活動ができた。

### 2) 園芸(花卉・果樹)

園内の花壇の美化は勿論、ゴルフ場、みなよし療護園などの花壇の管理をおこなって来た。施設外での活動で利用者の皆さんも楽しく参加してもらっている

果樹では、ミカン、ブルーベリーの出荷先として天文館果実堂との提携もはじめた。

また、ゆうかり保育園の園児たちの芋ほり、ミカン狩り、ブルーベリー狩りの場として今年も利用してもらい、楽しんでもらうことが出来た。

### 3) 畜産

かごしま黒豚の生産から加工販売まで一貫した畜産活動に取り組んできた。品質の

高い肉の生産のため工夫した餌を与えるなど、肥育の充実を目指している。

コロナ禍における市場の動向で、仔牛の競りにも影響が及んだと言える。

#### 4) 工芸 (木工・竹工)

屋久杉の材料確保が難しいことから少人数での活動が続いている。今年度も屋久杉の小物を主に製作した。卒業・卒団記念のマスコットボールも例年通りの注文に応えることができた。門松の製作は例年通り職員を中心に活動した。

竹工については、庭ほうきの材料の確保が課題になる中で、注文によりやく応じることが出来た。また、利用者の方で工程が出来る方が高齢になり、作業能力の低下が見られるようになってきている。

#### 5) 紙工箱折り

めぐい、スプラウトシール貼りの注文を受けての活動が日々続いている。

菓子箱については、コロナ禍における不況の打撃を直接受けている。

#### 6) そうさく

健康の維持、管理に気をつけなければならない方も多く、まずバイタルチェックを毎朝、夕に必ず行い活動に入る。リサイクル活動では空きかん、ペットボトルの分別、圧縮作業、リサイクル活動のないときは散歩やレクリエーションを企画して活動している。今後もこれまでの活動の他に、利用者の皆さんが楽しめる活動を事前に企画して実行したい。

#### 7) 生活介護

対象者が高齢や重度の障害のある方であることから、毎日の健康状態には気を配りながら、健康体操や、歩行散歩、レクリエーションなどを中心にした活動で今後も健康維持を第一に考えた支援をする。

#### 8) ぼおくしょっぶ游花里

利用者の皆さんがそれぞれの持ち場で頑張って活動されている。餃子作りの技術も向上しているようである。今後の展開に向けて、模索中である。

### 2. 職場実習及び施設外実習

ニッセイ鹿児島、久保水耕園へ職場実習として受け入れをしていただいた。ユニットを組み職場へ通勤するなどの取り組みを行ってきた。金銭管理や余暇の過ごし方の課題であるので今後の支援が重要になってくる。

### 3. 令和2年度 活動報告

#### ① 行事・研修会関係

月/日	行事	参加人数
8/28	佐々木昭さん葬儀 (8/27 逝去)	
10/6	柳隆行さん葬儀 (10/5 逝去)	
9/6	利用者レントゲン検査	
9/29	元気会	
毎月	誕生会	

②各種研修会

月／日	各種研修会	参加人数
9/14-16, 10/5-7	サビ管研修	2
1/8-9	虐待防止研修	2
1/19-20	強度行動障害従事者養成研修 基礎	2
1/30	法人内虐待防止研修 ①	30
2/16-17	強度行動障害従事者養成研修 実践	2
3/5	法人内虐待防止研修 ③	30

③研修生等の受け入れ状況

期間	男性	女性	所属	趣旨	備考
6/1～6/11	1		鹿児島国際大学	保育実習	宿泊
6/22～6/26		6	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
8/17～8/21		5	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
9/14～9/18		6	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
10/5～10/9		6	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
10/7～10/11		6	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
10/26～10/30		6	医療福祉専門学校	歯科衛生実習	通勤
2/24～3/9		3	鹿児島純心短期大学	保育実習	宿泊
計	1	39			

【令和2度の反省と課題】

- ・法人内における虐待防止研修に、学生に参加してもらおう等、新たな取組みを実施。
- ・新型コロナウイルスの関係で法人内事業所見学等は極力、断ってきた。
- ・短期補導受け入れ、特別支援学校（養護学校）実習は未実施。

※11月7日（木） 指導監査 （文書 1件 口頭 0件）

## 令和2年度 グループホームゆうかり 事業報告 (案)

### 1. 事業報告

#### 1) たんぽぽ (5/5) ⇒ (4/5)

年度途中でお一人お亡くなりになる。たんぽぽ利用者で3人目。献身的な世話人さん、ならびに支援スタッフのおかげで、ほぼ看取りに近い状態までホームで過ごしていただく。空床については、入居予定の現入所利用者の支給決定者が鹿児島市外のため、介護保険との兼ね合いで移行に時間を要している。ハイバックの車いすにて座位保持の方が1名。他事業所の生活介護を2名の利用者が週に2回利用中。夜勤者を配置し、きめ細かな支援を継続中。

#### 2) もくれん (5/5)

たんぽぽ利用者に比べて、比較的自立度の高い方々であるが、引き続き見守り体制を維持。

#### 3) さざんか (5/6)

夜間の巡回回数を増やすなど、他の利用者への暴言・暴力が酷い方に対する声掛けと見守りを継続中。

#### 4) わかたけ荘 (4/4)

飲酒、携帯料金等の調整が課題の方もおられるが、健康面に留意しつつ支援を継続。

#### 5) きんもくせい (6/6)

職員不在時の癲癇の発症などの可能性があるため、今後の夜間支援体制について要検討。

#### 6) あじさい (4/5)

認知傾向のみられる利用者への対応困難事例、癲癇発作による怪我の発生等、医療面との連携をしつつ見守り体制を強めている。

#### 7) びおら (2/4) ⇒ (1/4)

若い利用者で、1名の入居者がアパート暮らしを実現。

居室の掃除等、世話人とのコミュニケーションが難しいことが多いが、担当職員を交えて支援継続。

#### 8) まるおか (4/4)

女性利用者との性的関係をもつ等、異性との交遊について支援内容を検討中。

#### 9) すずらん荘 (7/7)

対人関係でのトラブルも絶えないが、庭先の畑をメンバーで手入れする等、楽しく生活している。

#### 10) コスモス (4/4)

健康面での不調の訴えがあるが、都度対応中。

#### 11) 第二わかたけ (5/5)

日中活動への参加が困難な利用者への見守り支援継続中。

#### 12) わかば (4/4)

健康面での不調の訴えがあるが、都度対応中。

13)ひまわり (4/4)

異性との距離の取り方を含め支援継続中。

14)さくら荘 (5/5)

長期入院者の退院を見据えて、ハード面をクリアすべく転居先を模索中。

※令和3年5月現在、岡之原エリア GH数 14か所 (男9:女5)

総定員数 68 空床 6

## 令和2年度 地域生活支援拠点ゆうかり 事業報告（案）

### 【1】運営の基本方針 各事業共通

《事業名》

『生活介護』 『共同生活援助・短期入所』

『一般相談支援、特定相談支援、児童（障害児）相談支援』

『居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援等』

『鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター機能）』

地域で暮らす一歩を安心して踏み出すための拠点として、障害のある方々が住み慣れた街で心から安心して暮らすことできる地域づくりを推進します。それが当たり前になる未来を目指して、様々な支援を切れ目なく、不安なく提供できる仕組みづくりを進め、障害のある人もない人も共に歩んで行く場所を目指します。

### 【2】令和2年度の概要

◎拠点事業全体

令和3年3月31日時点

事業	定員	期首	期末
共同生活援助 (くろーばー)	6名	6名	6名
共同生活援助 (すみれ)	6名	6名	6名
共同生活援助 (くるみ)	6名	6名	6名
生活介護 (ばすてる)	20名	29名 契約者数	33名 契約者数
特定・児童相談 (あとリエ)	—	227名 契約者数	255名 契約者数

### 【3】各事業報告

○生活介護 ばすてる 定員20名

1) 事業報告 担当職員：山口

年度当初は契約者数29名でスタートした。令和3年3月31日現在で、33名の契約者を得ることが出来た。新規利用者が増えた一方で、コロナ禍や体調不良等で利用頻度が減った利用者がみられたため、稼働率の伸びは想定より小さくなったが、利用者延べ数は増となった。



コロナ禍で特別支援学校等からの実習生受入の実施はなかったが、一昨年度受入した実習生が令和3年度からの利用検討して下さる等、新規利用者の獲得につながる利用相談があった。

コロナウィルス感染拡大防止の影響を受け、活動の内容や場所に配慮しながら、充実した室内活動や屋外での四季を感じられる余暇活動等を実施することができた。利用人数が増えるにつれ、個別の対応が必要になっているため、活動内容（活動の中身やプログラムの組み方等）及び送迎体制を含めた工夫と検討が必要となっている。利便性の高い立地を活かした様々な地域活動や新しい建物を活かした創作・生産活動や地域交流活動等を展開していきたい。

## 2) 利用状況

令和2（2020）年度 生活介護事業（ばすてる） 事業報告（利用者数・稼働率等）							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数×20(定員)	420	360	440	420	360	380	
開所日数	21	18	22	21	18	19	
利用者延べ数(名)	314	282	349	328	293	299	
平均実利用者数	15.0	15.7	15.9	15.6	16.3	15.7	
稼働率	74.8%	78.3%	79.3%	78.1%	81.4%	78.7%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
開所日数×20(定員)	440	380	400	380	360	460	4800
開所日数	22	19	20	19	18	23	240
利用者延べ数(名)	349	300	321	262	281	369	3747
平均実利用者数	15.9	15.8	16.1	13.8	15.6	16.0	15.6
稼働率	79.3%	78.9%	80.3%	68.9%	78.1%	80.2%	78.03%

### ○共同生活援助 地域生活支援拠点ゆうかり（くろーばー・すみれ・くるみ）

定員：6名×3ホーム＝18名

#### 1) 事業報告 担当職員：鳥丸

令和2年度の期首は定員18名に対して現員18名（満床）でのスタートとなった。最大の目標であった満床を維持することは達成することができた。

今後、現員に変動があった際に、スムーズに対応出来るように準備していく必要がある。入居希望の利用者とつながりを維持しながら、空き情報の提供と移行支援をサポートしていく。グループホームから次の地域生活の場へステップアップを検討される方には、関係機関と連携を図り目標達成に向けたサポートをする役割も担っていきたい。

コロナ禍における制限のある生活の中に、新たな楽しみを見出しながら地域生活が充実したものになるようにグループホームとしてアイデアを発信していきたい。





## 2) 利用状況

令和2(2020)年度 共同生活援助(地域生活支援拠点ゆうかり) 事業報告(利用者数・稼働率等)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数 (利用人数)	18	18	18	18	18	18	
開所日数	30	31	30	31	31	30	
定員(18) ×開所日数	540	558	540	558	558	540	
利用日数	508	504	478	504	503	497	
稼働率	94.1%	90.3%	88.5%	90.3%	90.1%	92.0%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
件数 (利用人数)	18	18	18	18	18	18	216
開所日数	31	30	31	31	28	31	365
定員(18) ×開所日数	558	540	558	558	504	558	6570
利用日数	532	499	513	497	470	526	6031
稼働率	95.3%	92.4%	91.9%	89.1%	93.3%	94.3%	91.8%

○短期入所 あすてっぷ 定員4名(内1床は緊急一時保護用に空床補償)

### 1) 事業報告 担当職員：鳥丸

コロナ禍における短期入所受入はリスクを伴うこともあり、受入を意図的に制限かけた時期もあった。そのため、令和元年度の実績と比較すると稼働率が大幅に下がる結果となった。

一人親家庭で、キーパーソン(親)の緊急時ということでロングステイになっていた児童が、家族の受入体制が整い、在宅生活へ戻ることができた。短期入所受入は、関係機関と連携を図り、1事業所だけで抱え込まないように必要時に担当者会議を開催しながら、本人及び家族を側面からサポートすることができた。

グループホームの併設型であるため、コロナウイルス感染拡大防止の観点から感染状況に応じて流動的に配慮した調整を行った。利用ニーズの比較的低い平日に、定期的な利用を増やすために、将来の自立した生活に向けた体験的な利用の具体的な提案を呼びかけて、稼働率アップに努めた。

連動する事業として、地域生活支援拠点事業における緊急一時保護受入についても、県外からの対象者の受入は、鹿児島市行政(障害福祉課・保健所等)と協議した上で受入できた。

今後も、関係機関と情報共有しながら、コロナ禍に配慮しつつ緊急枠を除く実質定員3名分の稼働率アップを目指していく。今後も準備と創意工夫を重ねていきたい。

## 2) 利用状況

令和2(2020)年度 短期入所(あすてっぷ) 事業報告(利用者数・稼働率等)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数 ×定員	120	124	120	124	124	120	
開所日数	30	31	30	31	31	30	
利用日数	54	74	75	27	12	16	
平均 利用人数	1.80	2.39	2.50	0.87	0.39	0.53	
稼働率	45.0%	59.7%	62.5%	21.8%	9.7%	13.3%	
							年間 合計or平均
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開所日数 ×定員	124	120	124	124	112	124	1460
開所日数	31	30	31	31	28	31	365
利用日数	23	22	26	10	4	6	349
平均 利用人数	0.74	0.73	0.84	0.32	0.14	0.19	0.95
稼働率	18.5%	18.3%	21.0%	8.1%	3.6%	4.8%	23.9%

### ○一般相談支援、特定相談支援、児童相談支援 あとりえ

#### 1) 事業報告 担当職員：塩満、福留、満園

鹿児島市在住の障害児(者)および保護者等からの相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携などを行ってきた。

令和2年度は、専従3名の相談支援体制にて、計画作成や電話相談、訪問相談、同行相談、来所による相談等を実施してきた。内容としては計画作成依頼、福祉サービスの利用についての相談、本人の不安の解消、情緒安定に関する支援が多かった。

地域生活支援拠点事業を通して、連携を図る関係機関の幅も広がってきた。次年度は相談体制をより面的に強化していきたい。

報酬改定の関連で、地域生活支援拠点事業に紐づいた計画相談支援の機能強化(基本報酬アップ)や関連した加算等を積極的に活用していきたい。今後も相談員が一人で抱え込んでの対応にならぬように、事業所間での連携と地域の関係機関との協働を図りたい。

## 2) 利用状況

指定特定相談支援・児童相談支援 実績集計(令和2年4月～令和3年3月)														
		R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	件数
全体	サ等計画	16	14	11	20	7	15	9	11	10	8	13	14	148
	サ計・モニ	29	30	33	34	38	39	33	33	41	36	39	39	424
	児支計画	8	2	2	7	5	5	7	3	8	6	8	5	66
	児計・モニ	3	6	5	2	6	11	6	9	5	11	11	13	88
													全総件数	726

(注) 「サ等計画」「サ計」…『サービス等利用計画』 「モニ」…『モニタリング』  
「児支計画」「児計」…『児童支援利用計画』

令和2(2020)年度	利用者(前年度比)
特定相談	206(+9)名
児童相談	49(+19)名
合計	255(+28)名

※令和3年3月末時点の利用者数(初回の計画請求まで至った利用者総数)

### ○在宅支援サービス(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援)

となりびと

#### 1) 事業報告 担当職員：有馬

鹿児島市在住の障害児(者)の在宅生活の支援を目的に、居宅介護(身体介護・通院等介助)、重度訪問介護、行動援護、移動支援等の事業を実施した。

令和2年度の居宅介護等サービスは、契約者16名、406時間30分のサービス提供時間となった。支援体制の充実に関しては、記録の整備、計画的な研修の実施、会議の定期的開催、文書等による指示及びサービス提供後の報告、熟練した居宅介護従事者の同行による研修等を実施してきた。より良い支援を行う為、高い目標を定めていく必要があるが、人員体制的にもまだまだ課題が多い状況が続いている。

人材確保と育成を進めながら、登録ヘルパーの雇入や活用等、今後の展開を模索している。まずは地盤となる拠点内の基本事業の稼働率向上を図りつつ、連動しながら新たな体制づくりを目指していく。

地域連携に関しては、バックアップ拠点(地域生活支援拠点ゆうかり)内にある事業所として広い視野を持ち、体制を整えていく必要がある。



## 2) 利用状況

令和2(2020)年度 となりびと 居宅介護等 実績								
サービス名		R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	
居宅介護 (身体介護)	時間	12	11	12	13.5	12	12	
居宅介護 (家事援助)	時間	0	0	0	0	0	0	
居宅介護 (通院等介助 身体介護有)	時間	0	0	0	0	0	0	
居宅介護 (通院等介助 身体介護無)	時間	0	0	0	0	0	0	
居宅介護 (通院等乗降 介助)	時間	0	0	0	0	0	0	
重度訪問介護	時間	0	0	0	0	0	0	
行動援護	時間	11	11.5	10	12	8	10	
移動支援 (身体介護 有)	時間	9	8	9	8.5	9.5	11.5	
移動支援 (身体介護 無)	時間	0	0	0	0	0	0	
サービス名		R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	合計
居宅介護 (身体介護)	時間	12	11	12	9	10	12.5	139
居宅介護 (家事援助)	時間	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護 (通院等介助 身体介護有)	時間	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護 (通院等介助 身体介護無)	時間	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護 (通院等乗降 介助)	時間	0	0	0	0	0	0	0
重度訪問介護	時間	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	時間	10	12	12	6	10	14	126.5
移動支援 (身体介護 有)	時間	18	14.5	17.5	12	10.5	13	141
移動支援 (身体介護 無)	時間	0	0	0	0	0	0	0
R2年度合計								406.5

### ○鹿児島市障害者地域生活支援拠点事業（安心コールセンター）

#### 1) 事業報告

24時間365日、緊急時の対応や体験の場の提供等のコーディネート業務を行ってきた。4年目を迎え、地域ネットワークも構築されつつある。

困難事例は、鹿児島市行政及び基幹センター、地域の関係機関等と協働しながら対応できた。コロナ禍や制度の異なる同居家族がいる事例等、緊急対応の判断が困難な事例もみられた。

令和3年度は、拠点事業の追い風になる報酬改定による変更を上手く活用しながら、地域連携（面的整備）の強化を推進していきたい。基幹センターが開所していない時間帯の対応力が肝になっているため、法人内外の協力体制を整えていく。

## 2) 利用状況

障害者地域生活支援拠点実績報告書(令和2年4月～令和3年3月分)			
1. 地域生活支援拠点	相談件数		(単位:件)
	(a)相談件数		
(d)全体		183	
(e)dのうち時間外		66	
2. 相談内容の内訳			(単位:件)
①家族等養護(介助)者の疾病等による急な不在	②身体機能・行動上の制約から自宅等での生活が困難となった場合	③知的障害における行動障害や情緒不安定等により自傷・他害の恐れのある場合	④精神障害者における精神的不安等に伴う一時的な避難等
3	1	7	20
⑤福祉サービスの利用等	⑥障害や病状の理解	⑦健康・医療	⑧不安の解消・情緒安定
65	0	4	6
⑨保育・教育	⑩家族・人間関係	⑪家計・経済	⑫生活技術
2	10	1	0
⑬就労	⑭社会参加・余暇活動	⑮権利擁護・成年後見制度等	⑯その他
1	0	13	50
3. 1の拠点相談件数の内、緊急相談・緊急一時受入件数			(単位:件)
	(a)相談件数	(b)aのうち、緊急相談	(c)bのうち、緊急一時受入
(d)全体	183	57	6
(e)dのうち時間外	66	27	6

### 【4】職員研修等 令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月

- 4/9 新任職員法人内部研修 令和2年度新任職員
- 10/27-28 強度行動障害支援者養成国研修 基礎研修 1名 管理者
- 11/12-13 強度行動障害支援者養成国研修 実践研修 1名 管理者
- 12/3 地域定着支援センターオンライン研修 3名 相談支援専門員
- 12/21 施設長等研修会 1名 管理者
- 1/15 全国相談支援オンライン研修 1名 相談支援専門員
- 1/30 虐待防止法人内部研修 複数名 生活支援員 他 ※3/6にも開催
- 1/19-20 強度行動障害支援者養成研修 基礎研修 2名 生活支援員
- 2/12 相談支援現任研修 1名 相談支援専門員
- 2/16-17 強度行動障害支援者養成研修 実践研修 2名 生活支援員
- 3/3-4 相談支援現任研修 1名 相談支援専門員
- 3/20 KGSN 全体研修会オンライン研修 1名 相談支援専門員



**【5】職員数（令和3年3月31日時点）**

正規職員：男性9名＋女性3名＝12名

非正規職員：男性7名＋女性20名＝27名

出向職員：男性2名 ※基幹相談支援センターへ出向中

派遣職員：女性4名

職員合計：45名（男性18名＋女性27名）

令和2年度 ゆうかり保育園 事業報告(案)

(1) 【全体所感】

昨年に引き続き、コロナ禍の生活となり、行事にとどまらず日常生活の中でも制限を必要とする状況もあったが、子どもがのびのびと安心して日々の暮らしを送ることが出来るよう工夫した。そしておおきな行事は出来なくても、子どもの思い出に残ることをしてあげたいという、職員の思いを強く感じる一年となった。

医療ケアが必要な子どもの入園に伴い、看護師を配置したが年度途中の退職があり、保育施設での看護師確保の厳しさに直面した。また、医療ケアが必要な子どもを受け入れる環境設備を整え、専門的知識を持った方からの研修受講等を受け、知識技術が備わった上で、職員の不安要素になる部分を取り除き、保育園という集団生活の中で該当する子どもの受入れが可能であるか考える機会となった。

鹿児島市の南部は待機児童が多いため、兄弟で別の保育園に通っているケースもある。全国的に保育士不足であることが要因の一つと考えられるため、処遇の改善に努め、働きやすい職場を全職員で作っていきたい。

行事が制限される中、学園へのブルーベリー狩り、芋ほり、みかん狩り等、バスでの園外保育はとてもありがたく、利用者さんとの交流や、自然や動物に触れ合う機会となり、子ども達が楽しむ姿がとても印象的であった。今後も協力をいただきながら継続していきたい。

(2) 【園児数】

・在籍 令和3年3月31日現在 ♣ 77名

0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	総数
6	3	6	6	7	7	8	9	6	7	6	6	39	38	77

・障害児等 令和3年3月31日

障害児		軽度障害児		療育支援児	
男	女	男	女	男	女
1	3			4	2

(3) 【行事の実施状況】

・うめ→年少組 ・もも→年中組 ・さくら→年長組

月	日	行事内容	備考
4	1	入園式	新入園児及び保護者
4	11	保護者会	保護者及び職員
5	27	芋の苗植え	もも組
<del>6</del>	<del>6</del>	親子レクリエーション	全園児 (中止)
7	18	お泊り保育	さくら組
7	22	ブルーベリー狩り	うめ組、さくら組
<del>8</del>	<del>1</del>	西谷山夏祭り	もも組 (中止)
8	7	夏祭り	全園児
8	22	卒園児同窓会	令和2年3月卒園児 (新1年生)
10	17	親子遠足 (平川動物公園)	全園児及び保護者
11	10	みかん狩り	うめ組、さくら組
11	13	芋ほり	もも組
11	22	収穫祭	全園児
12	8	発表会 (DVD 撮影)	全園児
2	2	豆まき	全園児
3	3	ひな祭り	全園児
3	5	お別れ遠足	全園児
3	13	卒園式	さくら組保護者及び職員

◆毎月 誕生会、スポーツ教室(外部講師)、読み聞かせ(外部講師)、英語  
避難訓練、身体測定、食育・クッキング

◆鹿児島市立図書館移動図書館(年間20回)3歳以上児

◆内科検診 5月13日(水)、10月14日(水)  
【年2回】ゆあさこどもクリニック

◆歯科検診 6月18日(木)  
【年1回】たんぽぽこども歯科

◆巡回相談 11月6日(金)



## (4) 【実習生、職場体験他受入状況】

実施日	学校名	人数
6月15日～6月23日	鹿児島看護専門学校	4名
7月29日～8月6日	鹿児島看護専門学校	4名
8月17日～8月29日	鹿児島純心女子短期大学	1名
9月7日～9月18日	鹿児島国際大学	1名
2月3日～2月17日（令和3年）	鹿児島純心女子短期大学	1名
2月22日～3月9日	聖徳大学	1名
3月15日～3月15日	平岡栄養士専門学校	1名

## (5) 【職員研修状況】

研修名	開催期日	開催場所	参加人数	キャリアアップ
食育・アレルギー対応	8月5日～6日	奄美の里	2	○
保護者支援・子育て支援研修	8月19日～20日	奄美の里	1	○
障害児保育研修会	9月8日、月20日	奄美の里	2	○
保育実践研修会	10月6日～7日	城山ホテル鹿児島	2	○
甲種防火管理新規研修	10月15日～16日	鹿児島国際交流センター	1	
障害児保育研修	11月5日～6日	奄美の里	2	○
感染症対策研修	12月2日	奄美の里	1	
乳児保育研修会	1月25日～26日	奄美の里	1	○

(6) 【職員数】

・職員構成

園長	主任保育士	副主任 保育士	保育士 (正規)	保育士 (非正規)
1	1	2	7	14
事務	栄養士	調理員	看護師	
2	1	2	1	

保育士総数 25名 職員総数 31名

(7) 【監査結果】

令和2年11月27日実施 鹿児島市指導監査 書面  
文書指摘 0件 口頭指摘 0件

## 令和2年度 そだち支援センタースケッチ 事業報告 (案)

### 【1】全体所感

新規児童が新1年生に限らず、学年が上がり学級や児童クラブでの困り感が出てきた2年生以上の児童も増えてきつつある。祝日のある月は土曜開所も行い、第2土曜日の下校後や休業日の余暇活動としてのプログラムを実施した。保護者からの事業所に対する評価や要望をもとに反映できることは行い、けがや苦情に対しては迅速に誠意をもって対応するように心がけた。新規契約は口コミによるものが大多数であったが、他の児童で連携を密にとることが増えた相談支援事業所からの勧めで見学、契約と繋がった利用者もいた。今後も、選んで下さった利用者や情報を共有している学校、相談支援事業所などに対し、児童の人生の見通しをつけながら家族を支えていける事業所として地域に根ざしていきたい。

法人内で女性職員の離職が絶えない中で、なんとか改善しようと苦慮している部署もある。事業所は分かれていても方向性や思いを通じ合わせることの重要性を痛感した1年間であった。利用者同様、勤務先として選んでくれた職員1人1人を大切に、それぞれの価値観を認め合える柔軟な職場と互いを支え合える関係性を築きたい。

### 【2】利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開所日数	244日	248日	249日
延べ利用者数	1473名	2032名	1877名

### 【3】利用者の状況活動内容

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録児童数	27名	37名	45名

#### 【4】活動内容

季節や学校行事に合わせた内容や、児童が楽しめそうな内容でまたスタッフも興味がある活動をそれぞれ1ヵ月単位で計画した。児童によっては不得手な内容もあったが、取り組みやすい手段や活動に参加しやすい役割などを提案し工夫した。平日は30分、長期休暇は1時間程度の活動であるが、活動時間内は可能な範囲で参加できるように個人に合わせた内容や空間で支援した。

令和2年度はコロナ感染予防にも配慮し、少人数グループでの活動や空間分け、また利用人数に応じて活動を2回に分けて行うなど職員の配置も考慮した。クッキングの時のみならず、児童同士直接触れ合わないよう使い捨て手袋を使用した活動もあった。

	活動	内容
4月	春休みプログラム たてものたんけん リクエスト活動	イースターエッグ作り たてもの内ルールの確認 風船バレー
5月	土曜プログラム 体を動かして遊ぼう かんたんクッキング ミニミニゲーム	万華鏡工作 スケッチドッチボール たい焼き 笑ってこらえてじゃんけんぽん
6月	工作 体を動かして遊ぼう 水鉄砲であそぼう	壁面かざり お玉リレー 雨が降っても楽しもう
7月 *夏休み 短縮版	ミニミニゲーム 体を動かして遊ぼう 駄菓子屋スケッチ 工作 クッキング 夕涼み会（おたのしみ会）	神経衰弱スケッチ版 風船パタパタ 駄菓子を選ぼう びっくり箱 ワッフル作り チヂミ作り
8月	夏休みプログラム	工作「キャンドル」等 水遊び 鶏飯ランチ そうめん流しツアー
9月	ミニミニゲーム	けんけん相撲

	体を動かして遊ぼう 十五夜クッキング 土曜プログラム	ふうせんリフティング ごま団子 そらバス
10月	体を動かして遊ぼう ハロウィーンクッキング ミステリーツアー 土曜プログラム	障害物リレー かぼちゃ餅 暗闇の中のツアー ボーリング
11月	祝日プログラム プラコップ工作 ミニミニゲーム おいしい秋を見つけよう	維新ふるさと館・博物館 コップがコースターに 音当てクイズ 果物カット体験
12月	体を動かして遊ぼう クリスマスクッキング おたのしみ会 冬休みプログラム	モップがけリレー ヘクセンハウス 機械餅つき大会
1月	冬休みプログラム おたのしみ会 *保護者茶話会(少人数) 体を動かして遊ぼう 鬼バスターズ	お正月遊び 焼きもち・ぜんざい作り  縄跳び 鬼を描いて退治しよう
2月	ミニミニゲーム バレンタインクッキング 体を動かして遊ぼう	ペットボトルボーリング 手作りチョコフレーク ファイト一球
3月	ひな祭りクッキング たわわでランチバイキング おたのしみ会 春休みプログラム	アレンジデザート バイキングランチ お菓子のつかみ取り大会

【5】研修状況

月日	外部（主催）・内部	内容	参加人数
4 / 8 ・ 9 (水・木)	内部	新任職員 法人内部研修	1名
10 / 15 ・ 16 (木・金)	外部	防火管理責任者 新規研修	1名
1 / 19 ・ 20 (火・水)	外部（鹿児島市知的障 害施設連絡協議会）	強度行動障害支援者養成 基礎研修	1名
1 / 30 (土)	内部	虐待防止法人内部研修	1名
2 / 19 ・ 20 (火・水)	外部（鹿児島市知的障 害施設連絡協議会）	強度行動障害支援者養成 実践研修	1名